

史料群番号 34

史料群名	やまぐち やざえもん 山口弥左衛門家文書		旧所蔵者	山口弥左衛門
探訪時住所	茨城県稲敷郡鳩崎村古渡			
現在の住所	茨城県稲敷市信太古渡			
探訪年月	昭和26（1951）年12月			
史料の年代	寛保3（1743）年～明治44（1811）年	史料の総点数	205点	
年代の内訳	近世 69点/近代128点/不明 8点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」			

収蔵にいたる経緯

探訪の書類に寄贈と記されている。水産資料館の整理で、舟串主一家文書に含まれていた史料3点が本来「山口弥左衛門家文書」に属するものであることが、平成7年からの神奈川大学日本常民文化研究所の再整理作業で明らかとなり、現在はこれらも「山口弥左衛門家文書」に含めて保管している。「漁業制度資料目録 第9集」に同家史料が掲載されており、現在中央水産研究所に収蔵されている史料と、その内容はほぼ一致する。おそらく、本史料群は探訪から現在に至るまで史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪地の信太古渡（しだふっと）は、小野川河口の左岸にあって、右岸にある東条古渡（河内郡）とは区別される。近世には常陸国信太郡古渡村があって、明治22年に鳩崎村の大字となった。平成17年に稲敷市の一部となり、信太古渡の呼称が字名として復活した。

本史料群は、年貢、土地関係など小野川の渡船の権利に関する史料や入会地のため池の所有をめぐる訴訟史料など、水利や河川交通関係の史料が含まれている。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

